
「京都市立新設高校創設プロジェクト」に関する 第4回有識者会議 次 第

平成28年8月10日 10:00～12:00
(於 西京高校 3階会議室)

1. 開会の挨拶
2. 報告Ⅰ 市民意見募集（パブリックコメント）の結果
3. 報告Ⅱ 新普通科系高校創設に向けての「まとめ（案）」について
4. 報告Ⅲ 塔南高校での検討状況について
 - ・生徒からのパブリックコメントの結果を受けて
 - ・改革状況について
5. 意見交換 「まとめ（案）」策定に向けて
6. 閉会の挨拶

「京都市立新設高校創設プロジェクト」に係る検討組織の構成について

1. 外部有識者

(敬称略)

氏名	役職等
北川 進	京都大学物質－細胞統合システム拠点長 京都大学大学院工学研究科教授
溝上 慎一	京都大学高等教育研究開発推進センター 教授
武田 靖史	村田機械株式会社 取締役 業務支援本部 本部長
今野 圭子	中学校PTA代表 (京都市立中学校PTA連絡協議会副会長・近衛中学校PTA会長)
村上 久明	高校PTA代表 (27年度：京都市立高等学校PTA連絡協議会会長・西京高等学校PTA会長)

2. 「京都市立新設高校創設プロジェクト」委員等 (◎はプロジェクト委員)

氏名	役職等
◎古池 強志	京都市立塔南高等学校 校長
◎村上 英明	京都市立高等学校長会 代表 (京都市教育委員会学校指導部学校指導課 参与) (27年度：京都市立西京高等学校 校長)
◎田邊 美野利	京都市立中学校長会 代表 (京都市立七条中学校 校長)
清水 稔之	京都市教育委員会 教育企画監
◎大黒 喜裕	同 指導部 担当部長
◎三宅 慎一	同 指導部学校指導課 担当課長
◎川浪 重治	同 首席指導主事
◎辰巳 敏秀	同 課長補佐
◎末房 和真	同 指導主事
山本 悦子	同 主任

※その他、オブザーバーとして、塔南高校の教職員からなる「塔南高校改革推進部」のメンバーが出席（下表は第4回会議出席者）

氏名	役職等
杓谷 恭子	京都市立塔南高等学校 教頭
飯島 弘一郎	同 教諭
平井 五月子	同 教諭

資料

資料1 「中間まとめ」に対する市民意見募集の結果について

資料2 新普通科系高校創設に向けての「まとめ（案）」について

資料3 塔南高校での検討状況について

資料4 「第3回有識者会議」摘録

「新普通科系高校創設プロジェクト」中間まとめに対する
市民意見募集の結果について

1 市民意見募集の概要

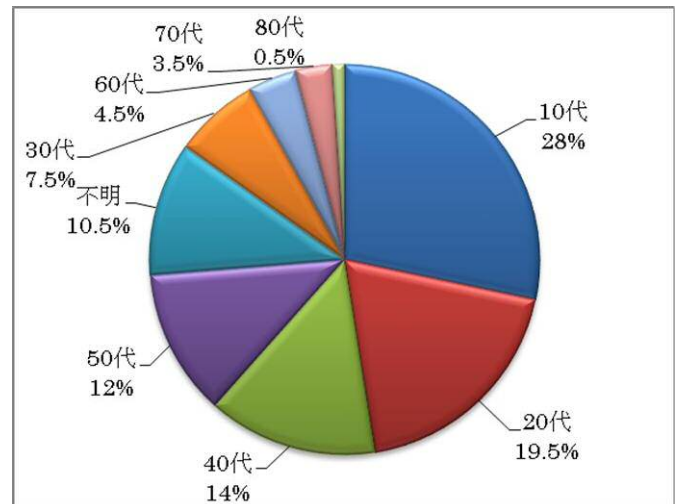
- (1) 募集期間 平成28年6月3日(金)～7月4日(月)
 (2) 募集方法 各区役所・支所・出張所, 市役所本庁舎案内所, 各市図書館
 (3) 応募方法 郵送, FAX, ホームページ

2 応募結果

- (1) 応募者数 1,088名(メール300名, 郵送・FAX101名, 塔南高校生687名)
 (2) メール・郵送・FAXでお寄せいただいた方(401名)の属性

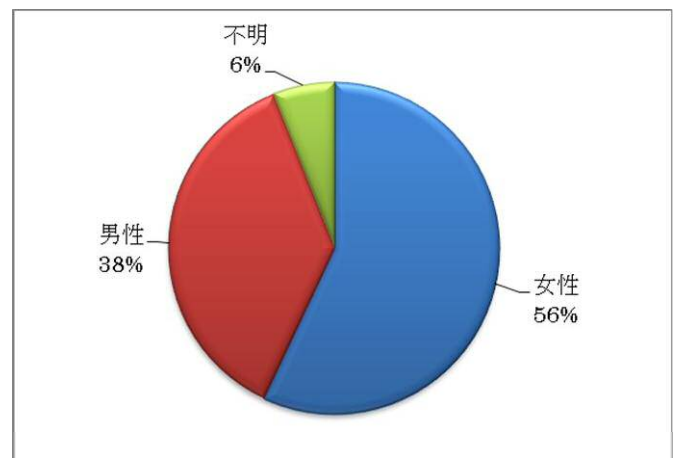
<年齢別(人数)>

年齢	人数	割合
10代	112	28%
20代	78	19.5%
30代	30	7.5%
40代	56	14%
50代	48	12%
60代	18	4.5%
70代	14	3.5%
80代	2	0.5%
不明	43	10.5%



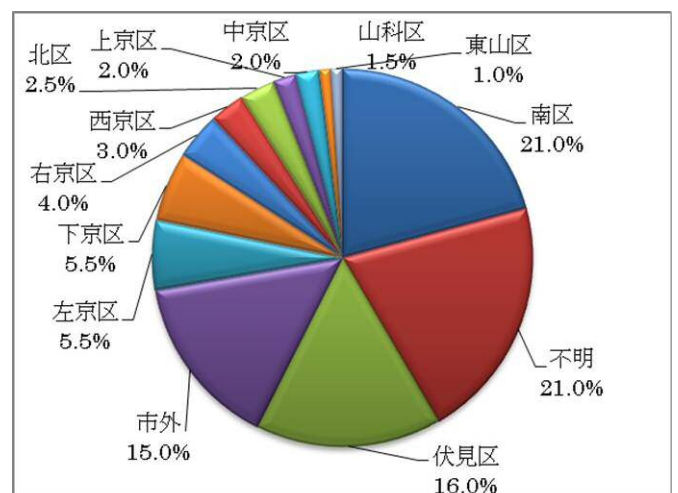
<性別(人数)>

性別	人数	割合
男性	150	38%
女性	226	56%
不明	25	6%



<行政区別>

行政区	人数	割合
北区	10	2.5%
上京区	8	2%
左京区	22	5.5%
中京区	8	2%
東山区	4	1%
山科区	6	1.5%
下京区	22	5.5%
南区	85	21%
右京区	16	4%
西京区	11	3%
伏見区	65	16%
市外	60	15%
不明	84	21%



※塔南高校生分(687名)は意見のみ生徒会でとりまとめており, 性別・年齢・居住地は不明。

3 中間まとめ項目別意見

3 教育課程や教育活動の具体化について	意見数 (件)	塔南高校生
3 教育課程や教育活動の具体化について (全体に関わる内容)	27	5
(1) 京都の都市特性を最大限に生かした教育活動の在り方	8	0
(2) 魅力あふれる教育課程の編成と授業の在り方	13	11
(3) 生徒の主体性を引き出す教育活動の在り方	46	109
(4) 小・中学校等や地域と連携した教育活動の在り方	19	0
(5) チームとして協働する学校の在り方	7	4
小 計	120	129

4 施設・設備について	意見数 (件)	塔南高校生
(1) 生徒が主体的・能動的に学びあう施設・設備	26	673
(2) 「魅せる高校」のための施設・設備	103	263
(3) 地域が輝く施設・設備	48	150
小 計	177	1,086

5 学校規模・設置学科について	意見数 (件)	塔南高校生
(1) 学校規模について	3	0
(2) 設置学科について	22	22
小 計	25	22

その他	183	39
-----	-----	----

合 計	505	1,276
	1,781	

「新普通科系高校創設プロジェクト中間まとめ」に対する市民意見について

3 教育課程や教育活動の具体化について(全体に関わる内容)(27件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
1	市南部を中心に、学力中位の子どもたちが、高校で学力を伸ばして希望する大学に進学できるような学校をつくってほしい。 経済的に塾に通えない子どもでも、まじめに学校の授業を受けて努力すれば、国公立大学などお金のかからない上級学校に進学できるような指導をしてくれる「安心して子どもを任せられる(信頼できる)学校」がほしい。	5	グローバル化する社会において、これまでの知識技能の習得はもとより、そうした知識技能をどのように活用できるか、また、どのように社会に関わっていくのかなど、生徒に求められる資質能力も変容し、高校教育の役割はますます重要になってきております。 こうした中で新普通科系高校においては、新しい時代を見据え、しっかりと学力と社会人基礎力をつけて堂々と生徒を社会に送り出せる学校を目指しております。今後、洛陽工業高校や塔南高校の良さを継承・発展するとともに、いただいたご意見を参考にしながら、教育構想の具体化を進め、その内容を保護者や生徒の皆様にもお示ししながら取り組んでまいります。
2	地域の子どもが塾に行かなくてもきっちり勉強すれば合格できる高校にしてほしい。高校でもさらにしっかり学び、次のステージへ堂々と送り出せる、そんな高校を望む。部活や地域活動も大事であるが、学力を第一につけてほしい。	2	
3	京都市南部の核であり、高校教育のモデルとなる新しい学校の創設に期待する。	6	
4	伝統ある洛陽工業高校の地に移転するので、洛陽の伝統を受け継いで、優秀な人材が輩出される学校になることを望む。	2	
5	これまで培ってきた塔南高校の良さを活かし、さらにすばらしいビジョンを持った学校へと発展することを期待する。	2	
6	この学校でしかないというような特色のある学校となることを期待する。近くにある鳥羽高校との違いはもとより、他の公立高校との違いを明確に示してほしい。	7	
7	不登校の生徒や家庭環境が厳しい生徒等、様々な背景を持つ子どもたちへの支援と、生徒の主体的な活動を通じた社会で通用できる教育活動を望む。	3	

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
塔南高校の伝統を、引き継いでほしい。	5	上記のとおり

3(1)京都の都市特性を最大限に生かした教育活動の在り方(8件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
8	京都の文化の発信地、集積地となるような学校づくりを行ってほしい。世界のどこにいても、日本、とりわけ京都という地域の持つ文化を理解し活躍できる人材の育成が大切である。そのため語学は当然であるが、古典・漢文などの基礎的教養をしっかりと身に着けられるカリキュラムをとり入れてほしい。	2	<p>「中間まとめ」にもあるように、京都には伝統文化や伝統産業などが私たちの生活の中に根付いております。京都を題材とした内容をカリキュラムにきっちりと位置付け、そうした文化と文化の普遍性を学習し、将来生きていくうえで必要となる深い教養を身につけることができるものと考えております。</p> <p>具体的にどの教科や活動に取り入れていくかについては頂戴したご意見を参考にしながら、今後、学校の教職員や教育委員会で検討組織をつくり具体化を図ってまいります。</p>
9	文化・伝統は、様々な時代の最先端のものを受け入れ、京都のそれまでの伝統と融合されたものが少なくない。世界の文化や技術を京都独自のものにしていく洗練された融合性を授業で学ぶことができれば、今後の京都の発展の礎となるような人物を作り出せるのではないか。またそうした授業などに、生徒を含めて地域の人々が参加型で取り組んでいく活動を保証していただければと思う。	2	
10	京都という町は文化が色濃く残る町である。文学や絵画、音楽もその中の大切なひとつだと思う。音楽の授業の一環でお琴を教わったり、京都市の伝統芸能を受け継ぐ文化部の活性化などをしてほしい。	2	
11	総合的な学習の時間を扇の要として、文理を含めた京都の伝統と革新の歴史を学ぶことのできる授業を行い、都市計画・文化芸術・産業技術などを学ぶ大学や、京都の観光を学ぶ専門学校に進学したり、生徒自身が新校で学び、京都に誇りをもって卒業できるような教育課程を編成してほしい。	2	

3(2)魅力あふれる教育課程の編成と授業の在り方(13件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
12	部活動に力を入れたい生徒や学力が中低位で入学する生徒にも、基礎学力の定着をおろそかにせず、将来、大学進学も含め社会で活躍するために必要な学力や力をしっかりと保障できる学校を作り上げてほしい。	5	高校生が生涯にわたって自己実現を果たす力を培うため、社会を知り、視野を広げることで高い目標を抱き、主体的に学習に取り組む教育課程の編成を目指してまいります。
13	学校は生徒たちが主役である。アクティブラーニングを導入し、教師ではなく生徒が主体となった授業づくりをしてほしい。	2	洛陽工業高校のある地域には、多くの企業が集積しており、従来の職業内容を知るだけのインターンシップではなく、広く企業活動に触れる活動や地域の方々と協働して課題解決に取り組む学習等を検討してまいります。
14	大学の授業形態やアクティブラーニングが本当に必要なのかは、慎重に議論していただきたい。	1	
15	京都という魅力的な街に住む利点を生かし、国際交流プログラム(海外研修)に取り組み、グローバルな視点を育てることは重要であると思う。各教科で英語のみで授業を行ったり、企業だけでなく、大学・短大・専門学校に協力してもらい、講義や授業を体験できるインターンシップもできるとよい。	5	また、これまでも洛陽工業高校をはじめ、小中学校が進めてきた唐橋学区の皆様との連携を引き継ぐ教育活動を検討してまいります。

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
海外交流事業を充実させてほしい／学力向上を目指し、世界で活躍する人材育成を目指す学校／普通科の教育内容を充実させてほしい／教育学の充実を等	11	上記のとおり

3(3)生徒の主体性を引き出す教育活動の在り方(46件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
16	「教育者主体から学習者主体へ」という、教育観の転換を明確に反映した学校になるよう切に願う。新校では生徒が主役になり、主体的、能動的に学び、いろいろな活動に積極的に取り組める学校であってほしい。生徒のニーズに合わせた文化祭の在り方や研修旅行の行き先の決定など、楽しい学校生活の演出も必要である。	8	これからの社会において、与えられた課題を正確にこなす力よりも、自ら課題を発見し、他者と協働して課題解決する力などが必要となります。そのため新普通科系高校においては、学校での学習や行事の在り方を根本から見直し、生徒が主体的に学習を組み立てていけるような教育活動を展開したいと考えております。 また社会の中で重要視されるコミュニケーション力を培うため、3(2)のとおり、企業や地域との連携により小・中学生と大人を結ぶ活動を実施してまいります。
17	勉強だけでできて社会では通用しない。コミュニケーション力をきっちりつけることや、学生の時の多様な経験は、大人になってから活かせる。新校では偏差値だけを求めるのではなく、それ以外の事で飛び出る魅力のある学校にして欲しい。	3	
18	生徒が主体的、能動的に学び、高い学習能力・人間としての優しさや誠実さを身に付け、社会人基礎力を付けることのできる学校であってほしい。言葉づかいなど、社会人としてのマナーも身につけてほしい。	2	
19	部活動については、体育系、文化系を問わず活性化し、「文武一貫」を本当の意味で実現し、部活動も勉強も頑張り切らせる学校づくりを期待する。進学希望者もきっちり支える体制づくりを。	25	現在、塔南高校は、「文武一貫」を教育方針に掲げ、部活動の充実と学力向上の両立を目指しており、複数の全国レベルで活動している部活動もあります。 新普通科系高校においても、この伝統を引き継ぎ部活動が活発に行えるよう条件整備を進めていきたいと考えております。 反面、高校生活の充実感が部活動のみになったり、勉強に向き合えなくなる生徒がいることも事実であります。 そのため、新普通科系高校では、部活動に取り組む生徒もそうでない生徒も、全ての生徒が多様な委員会活動や学校行事に参加し、生徒の主体性や自己有用感などの自尊感情を育み、自ら学ぶ力の育成につなげる取組を検討してまいりたいと考えております。
20	よりよい学校づくりをしていく中で、部活動と勉学の両立を目指すのか、それとも勉学に力を入れる、または部活動に力を入れるのかをはっきりさせておかないと現在のように中途半端な学校になってしまう。	2	
21	吹奏楽部をはじめ、全ての部活動が高校生の自主性を尊重した活動とするべき。	3	
22	部活動に関して文化系や同好会など、生徒の居場所となるような部活動も充実してほしい。特に地域で活動するボランティア部などがあれば、学校が地域住民の信頼を得られるのではないか。	1	
23	「学期毎に登録できる部活動」など、現実的にできるのか疑問。	1	
24	部活動について、休養日の設定や外部指導者の登用を進めるべき。校外の方の指導の下、在校生が活動の指針を決定できるような部活動の在り方を実現してほしい。	1	

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
運動部も文化部もどちらも活性化してほしい／吹奏楽部の存続・活性化／部活動も学習にも力を入れる(文武一貫の充実、部活動だけに力を入れない)／生徒の意見を反映させてくれる学校／学校行事を楽しく充実したものに 等	109	上記のとおり。また、頂戴したご意見の内、現在の教育活動に関することは、塔南高校とも協議し、より良い学校づくりのために生かしてまいります。

3(4)小・中学校等や地域と連携した教育活動の在り方(19件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
25	地域の大人と子供たちを結びつける役割が高校生にはぴったりだと思う。カフェテリアの運営への高校生の参画, 地域行事への積極的な参加や地域でのボランティアなどを通して, 生徒が多様な人々と協働する力も高まる。また地域の方に学校行事に参加していただくことも重要。	11	
26	小中学生向けに科学学習や大人向けの講座が生徒の手で開催され, 生徒たちのプレゼンテーション能力の向上, 地域貢献の意識の醸成を図る。近隣にある企業からも協力を得て実施してもらいたい。	1	これまで本市においては, 小・中学校を中心に, 地域に開かれた学校づくりを積極的に進め, 学校運営協議会をはじめ地域とともに歩む学校づくりを進めています。
27	人格の完成や, 街・社会・時代を創っていくことなどが教育課題になるような学校であってほしい。大人にも正解が見えない難題を, 地域社会が高校生とともに解決していく, そうした学校になることを望む。地域を知り, 世界にも目を向けられるグローバルな人材を育成してほしい。これからの時代では「いかに生きていくか」という難問と向き合うこととなり, どんな時代を迎えようとも, 生きるすべを自ら見つけ, 仲間と支え合い, 新しい価値観を創り上げながら生活を営むたくましい市民の育成を目指してほしい。	2	高等学校においては, 学校の所在地以外からも多くの生徒が通学していますが, 各校とも積極的に地域連携事業を推進しております。 そうした中で, 塔南高校の教育みらい科での小学校との連携事業や, 洛陽工業高校での地域と連携した様々な取り組みをそれぞれ発展させて, 教育活動に世代間の交流を創出し, 地域の中で成長する生徒を育むとともに, 地域の交流の拠点となる学校を目指してまいります。
28	地域と連携のできる教育の場として, 一般市民に一部開放して頂けるような教育施設を考えてほしい。小中学校や幼稚園との連携など, 唐橋地区の特色である「豊富な校種」を生かしてそのような学校づくりをお願いしたい。	3	
29	唐橋小学校, 南大内小学校, 八条中学と小中高一貫制の学校の新設を願う	1	
30	公立高校の入学選抜制度の変更により, 地域との連携が薄れる中, 小中学校及び地域の連携が計れるか。また, 地域に住んでいない生徒が地域の事に理解があるか疑問。	1	

3(5)チームとして協働する学校の在り方(7件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
31	各部活動顧問に、深い専門的知識と高い技術力を備えたベテラン教員や、やる気のある若手教員を積極的に配置してほしい。生徒理解を深めながら教授スキルを研鑽する意欲的な教員。将来のキャリア発達に必要な視点から、部活だけをさせることなく”勉強”させる教員が必要。	2	<p>高校においては、教科の専門性が高く分掌も多いことなどから、なかなかチームとして機能しにくい組織特性があります。また、昨今取り扱う業務は多岐にわたるなど多忙化が深刻な問題となっています。</p> <p>新普通科系高校においては、教科や分掌の枠を越えて協働して生徒の教育にあたるよう、教職員のチームとしての力を高める取り組みを検討するとともに、外部の人材を有効に活用する支援組織を設置してまいりたいと考えております。</p>
32	生徒の主体的な学びを支えるプログラムを学校全体で共有し、教員が「教科指導」と「生徒指導(=カウンセリング)」の2点に十分注力できるような環境整備が望まれる。具体的には、事務員の大幅増員、大学生の活用、退職校長・教員の活用、外部コーチ制度の導入など。	3	
33	いつどんな場合でも生徒を中心にものごとを考えていただける先生方であってほしい。一人ひとりの学力に応じた指導ができるように教員が生徒の学力や可能性を把握し、アドバイスできるように授業や進路指導をしてほしい。保護者懇談会や三者面談、参観など教員と保護者の関わりも充実してほしい。	2	

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
進学も就職も充実した支援を	4	上記のとおり

4(1)生徒が主体的・能動的に学びあう施設・設備(26件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
34	少人数講座も展開できる十分な教室が必要。	2	<p>現在、高校教育においても、講義形式の授業から双方向での授業や生徒間での話合いや発表の機会が増加してきております。</p> <p>新普通科系高校では、塔南高校が現在抱える交通の利便性や施設の老朽化、狭い現状などの課題を打開すると同時に、新しい教育の在り方に対応し、より充実した環境のもとで教育活動が展開できるよう施設整備を進めてまいります。</p> <p>その際には、生徒が主体的・能動的に学び合うための具体的なご意見をたくさん頂戴しており、今後の施設設備の検討に生かしてまいります。</p>
35	生徒と個別に話しができるブースや、補習など個別に指導できる教室の設置	1	
36	生徒の憩いの場となる、カフェテリア、中庭、売店の充実、憩いのスペースを設置してほしい。	3	
37	wifi環境を整備し、充実したICT機器を積極的に活用する。	4	
38	図書館、閲覧室スペース、自習室、教室以外での空間にも自由に議論が生まれるスペースの整備。	2	
39	プレゼンテーションや交流行事ができるホール、1学年程度がおさまる大講義室の設置。	3	
40	アクティブラーニングをより円滑に実施するため、机間支援を行いやすいようにゆとりのある教室作り。	1	
41	二足制。環境に配慮した冷暖房設備や校舎の在り方など、居心地の良い空間としてほしい。	5	
42	調理実習室は食品を扱うため、黒板よりもホワイトボードのほうが好ましい。被服室に関しては、実習をしていないときは講義室として使えるような構造にしておく。	1	
43	コンサルタント会社の企画書のように具体性に乏しい。例えば「中間まとめ」4の「ICT機器」とあるがWifi環境とITスキルとはなんの関係もない。高校でどういう人を育てるかと言うことを具体的に議論すべき。	1	
44	その他(冷水器の設置。プールはいらない。自動で出る蛇口の設置など)	3	

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・快適な学校生活環境の整備について 二足制／個人ロッカーの設置／快適なトイレの整備／クーラーや扇風機の設置(環境に配慮した効果的な冷暖房)／冷水器の増設／廊下・階段を広く／ 虫・鳥の侵入を防ぐ網戸の設置 ・充実した学習環境の整備について wifi環境やICTの整備／フリースペース・広場・屋上の設置／図書室・自習室の整備 等 	673	<p>上記のとおり。また、頂戴したご意見の内、現在の施設設備に関することは、塔南高校とも協議し、より良い学校づくりのために生かしてまいります。</p>

4(2)「魅せる高校」のための施設・設備(103件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
45	文化・芸術に対応した施設を整備し、文化教養行事を充実させることを要望する。	6	新普通科系高校での生徒の発表等の教育活動や、また、そのための施設についてはできる限り地域の小中学生や住民の方々にも開放していきたいと考えております。
46	サイエンスラボ、さらに、子どもたちや地域の大人向けにもワークショップや実験などができ、しかも、前でデモンストレーションをすることを想定したつくりのサイエンスステーションとかサイエンスシアターのような部屋があると良い。また、現在の塔南高校にある天文台の施設を移設してほしい。小中学生と共に学ぶための施設を設置してほしい。	2	
47	全ての部活動が充実した活動ができるよう、現グラウンドの継続使用も含め、体育館やグラウンドの整備を行ってほしい。	4	現在、塔南高校は、「文武一貫」を教育方針に掲げ、部活動の充実と学力向上の両立を目指しており、複数の全国レベルで活動している部活動もあります。そのため、施設設備についてもたくさんのご意見やご要望をいただいているところであります。 特に野球部の専用グラウンド等体育系部活動の施設の充実や吹奏楽部が使用可能なアリーナと防音室の設置に関するご要望を多くいただきました。
48	マーチングの練習や演技で使える防音機能を備えたアリーナを設置すれば、運動部、文化部問わずに有効に活用できる。	49	
49	吹奏楽部のためのパート練習のできる防音室が必要。楽器が安全に置ける楽器庫を設置してほしい。	24	
50	野球や陸上部などの専用グラウンド。ナイター設備。人工芝など運動部施設の充実と「見る・支える」スポーツを支える観客席を備えた施設を希望する。	18	

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
運動部の施設の充実(広いグラウンド、人工芝、全天候型施設、照明の設置、観客席のある体育館、広い弓道場)／吹奏楽部の施設充実(楽器庫、マーチングができるアリーナの設置、防音室)／宿泊施設の設置／部室がほしい 等	263	上記のとおり。また、頂戴したご意見のうち、現在の施設設備に関することは、塔南高校とも協議し、より良い学校づくりのために生かしてまいります。

4(3)地域が輝く施設・設備(48件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
51	校外から出入りの出来る, 同窓会や地域の方々との共同利用会議室の設置, 洛陽工業高校の跡地であることを示す記念碑の設置と資料展示室の設置。	21	<p>新普通科系高校が, 地域のシンボルとなる学校となるよう施設面の整備も行いたいと考えており, いただいたご意見をもとに, 学校施設に寄せられる防災面への期待に応えられる防災機能の充実など, 地域の方々にも開かれた施設になるよう, 施設設備の具体化を図ってまいります。</p> <p>また, あわせて一般の方との共有スペースと学習スペースを仕切るなど安全面にも配慮した施設になるよう工夫をしてみたいと考えております。</p>
52	民間事業者や障害者就労事業所等も活用した, ゆとりのあるおいしいカフェテリアや図書館, サロンなどを設置し, 一般の人にも開放してほしい。	6	
53	地域と共生できる学校にして欲しい。たとえば, 学校行事に保護者関係だけでなく, 地域住民も気軽に参加できる学校。	6	
54	災害発生時には, 新校が避難場所としての役割だけでなく地域の災害対策本部としての機能を備えるなどしてもらいたい。	4	
55	地域に開かれた学校施設は, 唐橋地域のシンボルとなるようなものにしてほしい。体育館やスポーツジム・ホールなど地域と共用にできればよい。	2	
56	生徒の安全に配慮された学校。バリアフリーな学校としてほしい。	3	
57	新校の最寄り駅であるJR西大路駅から新校までの通学路を, 学び舎へと通ずるプロムナードとして整備することを期待する。学校の柵を少し内側にして, 生徒や通行人が歩きやすくなったほうが良い。駅に近いところに校門を設置。	3	
58	現校舎はまだ耐震化工事もせず, 老朽化したまま何年も放置されている。階段, 教室, トイレ, 一足制など生徒の安全面, 衛生面, 精神面を考えると本当に厳しい状況である。生徒に選んでもらうには校舎の学習環境の改善は早急を実現されたい。	3	

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
食堂・売店の充実／エレベーターの設置等バリアフリーな施設に／コンビニ等を作る／耐震性のある施設に 等	150	上記のとおり。また, 頂戴したご意見の内, 現在の施設設備に関することは, 塔南高校とも協議し, より良い学校づくりのために生かしてまいります。

5(1)学校規模について(3件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
59	現在の塔南高校より少ない1クラス30人以下とするなど、少人数編成の講座授業が良い。	2	学校規模については、「中間まとめ」にあるように学校全体で840人程度で想定しております。普通科系高校であり、交通の利便性も高まることからできるだけ多くの生徒を受け入れて、活気のある学校にしていきたいと思います。
60	地域から身近に感じられる公立高校であり、募集人数も多い方が良い。	1	

5(2)設置学科について(22件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
61	教育みらい科の教育課程には、教員にならなくても高校生に必要な要素が含まれている。みらい科でしかできない取組(教育チャレンジ・人間学・小学校での実習・研修旅行)は存続させ、学力も社会人としてのスキルも向上する教育活動を実施してほしい。	12	設置学科については、学校の顔となり、特色を表すものです。教育みらい科は、全国で初めて設置した教員養成専門学科です。教育みらい科の卒業生は、京都市立学校の教師となるなど、活躍されており、そうした成果をしっかり検証し、「教育みらい科」の発展・見直しも含め、頂戴したご意見を参考にしながらさらに検討を進めて参ります。
62	教育みらい科にこだわらず、将来を見据えたコースの設置など(ITや福祉)新しい学校に合う内容に変えていくべき	2	
63	他の市立高校にない「理数科」を複数クラスで設置し、市内に限らず北部や南部の生徒も受けられる学科があるほうが良い。	1	
64	新しい学科を設置するなど、生徒の選択肢を増やしてほしい。	1	
65	コースや学科(文系・理系・現在のみらい科の発展・部活動の活動保証コース・就職につなげるコース等)を設置し、生徒の希望進路を保障する。進学を目指す学科・コースとスポーツや吹奏楽、資格取得等の学科・コースを分ける方が良い。	4	
66	学習障害のある子どものために、少人数制など学びやすい環境の学科の設置をお願いしたい。	1	
67	(設備等の充実した)普通科を継続する。	1	

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
教育みらい科の存続・発展／スポーツ学科の設置	22	上記のとおり

その他(183件)

No.	御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
68	塔南高校の移転後の土地は、何に活用されるのか。地域の意見も聞きつつ、引続き京都市南部の教育や子育ての拠点となるものに活用していただきたい。	3	新校の開校の時期もまだ未確定なこともあり、まだ未定です。整備スケジュールが明確に決まって以降、具体的に検討してまいります。
69	母校がなくなるのは寂しいので、塔南の名前は残して欲しい。	22	校名については同窓会やPTA等関係団体の意見も含め、その在り方を検討してまいります。
70	〇〇塔南や塔南〇〇高校など、「塔南」を引き継いでほしい。	1	
71	京都市全体から愛される高校を目指してほしいため、校名は南区のイメージが強い「塔南」ではなく「西大路高校」等への変更を希望する。	1	
72	全国大会出場実績のある吹奏楽部(グリフォonz)をなくさないで欲しい(応援する)。	103	吹奏楽部及び塔南グリフォonzに関しては、より充実した環境で活動できるよう検討しております。
73	部活動の活性化につながる推薦枠を設けるなど、学力だけでない入学選抜制度を希望する。	32	現在の部活動の活動環境についても、いただいたご意見を参考に塔南高校と協議し、引き続き改善に努めてまいります。
74	(移転前でも)洛陽工業高校のグラウンドを塔南高校生も使わせてもらえたらと思う。部活動の交流になる。	1	
75	塔南高校をそのまま継続してはどうか。洛陽工業高校跡地を、市民が利用できる施設としてほしい。	1	中間まとめでもお示しているように塔南高校の施設等の改善や交通利便性の解決のために移転をし、新しい普通科系高校へと再編する方針を定めているところです。今後とも広く市民の皆様からもご意見を頂戴して検討を進めて参りますのでご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。
76	立地が駅の近くになるため、広域に住む生徒が進路先の選択肢の一つとなるなど、移転による効果が期待できる。	11	ご意見の通り、現在の塔南高校から段階的に新校へとつながる改革を進めていくことが必要と考えており、今回のパブリックコメントでも塔南高校の生徒会が中心となり、生徒全員へのアンケートという形で実施していただいたと聞いています。今後の具体的な教育内容の構築にあたっては、こうした意見をふまえるとともに、地域や学校現場の先生方とともに検討を進めて参ります。
77	こんなアンケートで何の役に立つのか疑問。税金の無駄遣い	1	
78	新しい学校への改革は、突然変化させると子どもの負担となる。また今の塔南高校を見て、進路先を考えるため、現在の在校生を含め段階的に進めていくべき。	1	ご意見の通り、現在の塔南高校から段階的に新校へとつながる改革を進めていくことが必要と考えており、今回のパブリックコメントでも塔南高校の生徒会が中心となり、生徒全員へのアンケートという形で実施していただいたと聞いています。今後の具体的な教育内容の構築にあたっては、こうした意見をふまえるとともに、地域や学校現場の先生方とともに検討を進めて参ります。
79	これからの時代にふさわしい高校として、様々な観点から議論するため、多くの方々(地域や中学校教員、現役塔南高校生など)の意見を聞いてほしい。	6	

塔南高校生からの御意見

御意見の内容・趣旨	件数	本市の見解・考え方
「塔南」の校名を残して欲しい／校名に「塔」だけでも残して欲しい／入学者選抜に吹奏楽部の枠を残して欲しい	39	上記のとおり

(案)

新普通科系高校創設に向けての「**中間**まとめ」

平成28年__**5**月

京都市立新設高校創設プロジェクト

目 次

1	新普通科系高校の創設に向けて	…	1
2	目指す生徒像・学校の基本コンセプトについて	…	3
3	教育課程や教育活動の具体化について	…	4
	（1）京都の都市特性を最大限に生かした教育活動の在り方		
	（2）魅力あふれる教育課程の編成と授業の在り方		
	（3）生徒の主体性を引き出す教育活動の在り方		
	（4）小・中学校等や地域と連携した教育活動の在り方		
	（5）チームとして協働する学校の在り方		
4	施設・設備について	…	7
	（1）生徒が主体的・能動的に学びあう施設・設備		
	（2）「魅せる高校」のための施設・設備		
	（3）地域が輝く施設・設備		
5	学校規模・設置学科について	…	9
	（1）学校規模について		
	（2）設置学科について		

※ この資料では、以下の項目は省略しています。

<参考資料>

1	京都市立洛陽工業高校跡地における「新しい普通科系高校の創設に関する基本方針」	…	1 1
2	京都市立新設高校創設プロジェクト名簿	…	1 3
3	これまでの検討経過	…	1 4
4	プロジェクト（有識者会議）等での主な意見	…	1 5
5	洛陽工業高校と塔南高校の施設状況等	…	1 7

1 新普通科系高校の創設に向けて

本市においては、これまでから常に時代の変化を見据え、生徒一人一人の個性の伸長と進路希望の実現を図るため、市立高校の各校が創意工夫を凝らした特色ある教育活動を展開してきた。平成28年4月には将来の日本の「ものづくり」「まちづくり」をリードする担い手の育成を目指して、洛陽工業高校と伏見工業高校を再編・統合した京都工学院高校が開校したところである。

これにより、平成29年度以降に活用が可能となる洛陽工業高校の跡地に関し、平成26年8月に洛陽工業高校同窓会である洛陽京工会から「洛陽工業高校の跡地は学校施設として活用して欲しい」旨の要望が、また同年11月には塔南高校の同窓会、PTA役員経験者などで組織されている塔南高校愛校会、塔南高校PTA、塔南高校の4団体から「立地、施設の老朽化や狭隘（きょうあい）な状況等の課題解決に向け、洛陽工業高校跡地へ塔南高校を移転させてほしい」旨の要望がそれぞれ教育長へ提出されている。

塔南高校は、生徒急増期にあった昭和38年、当初は中学校用として計画されていた施設を転用し、それまで普通科と工業科を併置していた洛陽高校、伏見高校両校の普通科生徒を受入れる形で全日制普通科単独校として開校した。以来、教職員の熱意ある取組によって、平成5年度には現役国公立大学合格者が74名（京都府下公立高校トップ）となるなど、教育界をはじめとする様々な分野で活躍する卒業生を数多く輩出してきた。

また、平成19年度には教師として求められる「知性」「志」「実践力」を高校段階から育成する全国初の教員養成系専門学科として「教育みらい科」が設置された。生徒たちは同じ志を持った仲間と将来を語り合いながら実践的な取組を通して切磋琢磨し、教師として必要な資質・能力の基礎を培っている。

一方、交通の利便性に課題があるほか、生徒一人当たりの校舎面積が市立高校で最も狭い状況であること、老朽化が進む中で建物全体の約7割（床面積比）が耐震補強を要するなど立地面や施設には様々な課題を抱えている。

こうした状況を早急に改善し、より充実した教育環境の下で最先端の高校教育を展開できるよう、現在の塔南高校を洛陽工業高校の跡地に移転・再編し、新しい普通科系高校（本「**中間**まとめ」では、「新普通科系高校」という）を創設する「京都市立洛陽工業高校跡地における『新

しい普通科系高校の創設に関する基本方針』(以下、「基本方針」という。)が平成27年6月に策定された。

この「基本方針」の具現化に向けて、教育委員会、中学校・高等学校校長会および塔南高校の管理職・教職員で構成する「京都市立新設高校創設プロジェクト」を平成27年7月に設置し、大学や産業界、保護者の方からもご意見をいただきながら、次代を担う「新普通科系高校」の教育内容や学校規模、施設・設備などの骨子について検討を進めてきた。

このたび平成28年6月から7月にかけて、約1ヶ月間の市民意見募集(パブリックコメント。以下、「パブコメ」という。)を実施したところ塔南高校の生徒をはじめ、1,088通もの多岐にわたるご意見を頂戴した。

その概要とご意見に対する考え方はP. ●●のとおりであり、現在の塔南高校の教育活動とともに、本まとめをふまえた新普通科系高校の教育内容の具体化や本年度策定予定の施設・設備に関する「基本構想」へと反映していきたい。

同時に、今後とも、全国をリードする新普通科系高校の創設に向け、~~国での~~教育改革の方向性など時代の潮流を的確に捉えつつ、引き続き市民や保護者の皆様、大学、産業界から幅広く御意見をいただきながら、全国をリードする新普通科系高校の創設に取り組んでいく。基本方針の一層の具体化を進めていく。

2 目指す生徒像・学校の基本コンセプトについて

「基本方針」において、新普通科系高校では日本が目指す科学技術イノベーション立国を見据えるとともに、塔南高校において様々な分野で活躍する生徒を育ててきた教育風土をしっかりと引き継ぎ、多様な分野で「社会に貢献する生徒の育成」を学校の最高目標としている。

また、その最高目標の実現に向け、学校教育と実社会とのつながりを重視した教育活動の下、「国際的な視野を持って主体的に社会に参画し、自立して社会生活を営むために必要な力」を育むことを教育活動の基軸として学校づくりを行うこととしている。

「基本方針」に示された「目指す生徒像」と「学校の基本コンセプト」は以下のとおりである。

目指す生徒像

- ① 自らの将来像を描き、その到達に至る道筋と達成すべき課題を明確にして、目標の実現に向けチャレンジし続ける生徒
- ② 在校生はもとより、小・中学生や地域の方々等、世代や立場を超えた人々とも積極的に交流し、他者と協働して活動できる力を培い、多様な価値観や生き方を学びながら、自己の成長につなげることができる生徒
- ③ 国際化や情報化の進展する社会において、地域や社会の課題を多角的にとらえる視野を育み、科学技術分野や教育分野をはじめとする多様な分野で社会に貢献する気概を持って、社会的課題の解決や新しい価値の創造に向けて行動し、社会の発展に寄与することのできる生徒

学校の基本コンセプト

- ① <生徒が主体的・自律的にいきいきと活動する学校>
学習活動はもとより、生徒会活動や部活動などすべての教育活動において生徒が自発的に、意欲をもって全力で取り組める環境を提供する学校
- ② <地域に貢献し地域と共に発展する学校>
地域の小・中学校との連携事業を継承・発展させるとともに、地域でのボランティア活動や伝統行事などに生徒が積極的に参画することを通して、地域の発展に貢献するなど、地域と共に歩む学校
- ③ <生徒の持つ可能性を引き出し、高める学校>
生徒が成りたい自分を描きながら、夢や希望を持って学校生活を送れるよう、個の可能性を最大限に引き出し、その実現に向けて、一人一人を徹底的に大切にす学校
(「基本方針」から抜粋)

3 教育課程や教育活動の具体化について

「京都市立新設高校創設プロジェクト」を中心に、大学や産業界、保護者の方が参画する「有識者会議」で意見をいただきながら「基本方針」に示された「目指す生徒像」と「学校の基本コンセプト」の具体化に向けた協議を進めてきた。

第3章以下は、「中間まとめ」に対する市民意見とこれまでのプロジェクトでの約1年間10ヶ月にわたる協議を現段階でとりまとめたものである。今後の検討にあたっては、学校現場と教育委員会で検討組織を設け、学習指導要領の改訂や高大接続改革などの動向を見据えつつ、施設整備計画と歩調を合わせて本中間まとめの更なる具体化を進めていく。

(1) 京都の都市特性を最大限に生かした教育活動の在り方

世界文化交流の中心として、全世界のひとびとが平和のうちに自由につどい、自由な文化交流を行う都市となることを宣言した「世界文化自由都市宣言」を都市の理想像として掲げる京都市には、1200年を超える歴史の中で磨き上げられた伝統と文化が、人々の衣食住や日々の生活に受け継がれ、多様な魅力と個性が輝き、それぞれの地域の暮らしに人々の絆がいきいきと息づいている。

今日、京都には日本国内のみならず世界各国からも観光や国際会議、学術研究などで訪れる人が増加しており、多様な文化的背景をもつ人々同志が触れ合う機会も増えている。このたび文化庁の京都への全面的な移転が決定されたが、こうした京都が有する魅力と国内外への影響力が評価された結果であり、日本文化の更なる振興・発信と「文化芸術立国・日本の実現」に寄与する京都の役割はますます大きくなっている。

また、世界有数の大学数を誇り、学生文化の息づく「大学のまち・学生のまち」でもあり、国内外の知が融合する大学の研究機関において、様々な分野で世界をリードする最先端の研究が行われている。さらに、「ものづくり都市」として伝統産業から先端技術産業に至るまでの多様な産業が集積しており、京都に本社を置き世界を舞台に活躍する企業が多数存在している。

こうした多様で奥深い都市特性を有する京都は、生徒が様々な分野の人との交流を通じて刺激を受ける機会に恵まれており、自らを見つめ、人として成長していくうえで絶好の学びの場であるといえる。新普通科系高校は、これまで塔南高校が積み重ねてきた教育実践を継承・発展させるとともに、京都という都市の強みや文化力を最大限に生かし、将来、

わが国の発展に貢献できるよう、失敗を恐れず高いハードルに果敢に挑戦し、新しい文化や科学技術のイノベーションを創出する柔軟な思考と斬新な発想を持つ人材育成を図る。人文社会、自然科学の分野を問わず、将来社会の発展に失敗を恐れず果敢にチャレンジする意欲と行動力を育む教育を推進する。

(2) 魅力あふれる教育課程の編成と授業の在り方

生徒の夢の実現に向け、大学進学を最終目標とせず、将来、社会において自らの力でキャリア発達を促す礎を培うため、力強く支援できる学校として、基礎学力の確実な定着を図るとともに、言語技術の習得を基盤としてコミュニケーション力や実行力などの社会人基礎力^{*1}を高めることに主眼を置いた教育課程を編成する。その際、「総合的な学習の時間」を教育課程の核として、他者と協働し解決策を考え実行する力を育成するため、身近な「地域」課題の解決をテーマとした文理の枠にとられない探究活動を行う。

また、企業や大学などでのインターンシップや講師を招いた連続講座などを通して、最先端の科学技術の知見やグローバルイノベーション活動の一端、また、ベンチャー精神や起業家マインドにふれ、学習と自分の将来を結びつける視野を広げるとともに、社会における課題や現象の多くが様々な分野が複合的に関連しながら生じていることを気付かせる。

あわせて、教科においては「総合的な学習の時間」での学習内容と関連付けた授業を展開し、学びの主体である生徒の学びたいという意欲を引き出しながら、能動的に学習に取り組めるよう、すべての教科でアクティブ・ラーニング^{*2}を取り入れるとともに、生徒の興味関心に応じた学習テーマで授業づくりが行われるような環境を整える。

さらに、京都が誇る悠久の歴史と伝統が育んだ文化や芸術を学びに触れ、自国文化に対する理解と誇りを高めるとともに、相互に留学生を受入れる姉妹校提携等による国際交流プログラムの実施を検討し、異なる歴史や文化を持つ他者と協働する力や国際的な教養を養う取組を進める。

※1 社会人基礎力 … 組織や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力で、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力から構成される。（経済産業省が提唱）

※2 アクティブ・ラーニング … 教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学習者が能動的に学習することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。

(3) 生徒の主体性を引き出す教育活動の在り方

生徒が自立して社会生活を営んでいくうえで基盤となる、物事に対して自発的に取り組む主体的な態度や能力を育む教育活動を展開するため、海外研修や学校説明会等の学校行事において、生徒が委員会活動やボランティア活動として、行事の企画・立案から、運営までを行える枠組みを構築する。

部活動においてつては、も、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、塔南高校での部活動に熱心に打ち込む生徒の伝統を引き継ぎ、体育系や文化系、科学系など分野を問わず多様な部活動を活性化していく。

あわせて教育活動と部活動の高いレベルでの両立をさらに徹底し、学校行事日や部活動の土日における休養日の設定により、全員参加を前提とした学校全体で取り組む教育活動を行う仕組みづくりを検討する。さらには、生徒自らが活動計画や活動内容等を可能な限りマネジメントできる仕組みの構築や、学期毎に登録できる部活動や課外活動を設置するなどの工夫を行い、様々なスポーツや文化活動等を幅広く経験しながら、生徒が自らの可能性に気付き、その可能性を高められるよう多様な教育活動を展開する。

(4) 小・中学校等や地域と連携した教育活動の在り方

地域清掃、防犯・防災等のボランティア活動や福祉施設との連携事業など、教育活動におけるダイバーシティ^{※3}化を推進し、多様な他者との関わりを通して、協働する力を育成する活動を展開する。また、そうした活動を身近な地域の課題を解決する探究活動に結び付けるとともに、その成果などを小中学生や地域の方々へ積極的に発信し、高校生が地域において子どもと大人を繋ぐ役割を果たしながら、地域に様々な世代間の交流を創出する。

さらに、新普通科系高校が地域の生涯学習の拠点となるよう地域の人とともに学ぶ機会として、企業・大学から講師を招いた公開講座などを実施する。

こうした地域とともに歩む学校づくりを進めるため、学校・家庭・地域がともに学校運営について協議し、行動する「コミュニティ・スクール」導入の準備を進める。

※3 ダイバーシティ … 性別、年齢、国籍、障害の有無といった個人の属性にかかわらず、多様な人材の「違い」を尊重し、かつその「違い」に価値を見

出し、能力や発想、価値観を融合する考え方。

(5) チームとして協働する学校の在り方

上述のような教育活動の推進にあたっては、教科や分掌の枠を越え、教育目標の実現に向けて全教職員が一丸となって取り組んでいくことが必要であり、卒業時までには生徒に身につけさせたい力を明確にするとともに、学年ごとに到達する指標を設定し、学期ごとなどの短いスパンで、授業や指導のあり方をP D C Aサイクルで改善につなげていく。

また、教職員のチームとしての力を高めるためチームビルディングや生徒の主体性を引き出すためのコーチングスキルに関する教職員研修を定期的実施する。あわせて、効率的・効果的な業務の遂行のため、ワーキンググループなど、分掌の枠を越えた仕事の組織づくりを行う。

さらに、企業の退職者や大学生、部活動での外部指導者など、外部の方々の力を学校に生かしていけるよう検討するとともに、そうした方々の安定的な確保や企業・大学等との連携事業を円滑に実施できるよう地域や企業・大学の方々に継続的・安定的に教育活動を支援していただくため、専門のコーディネーターを核とする教育支援組織（サポートボード）を校内に設置し、唐橋学区をはじめとした地域の方々や高等学校コンソーシアム京都や、大学コンソーシアム京都とも連携しながら、特色ある教育活動を支える仕組みを構築する。

4 施設・設備について

新普通科系高校においては、地域のシンボルとなるような学校施設を目指して、地域連携や地域活動を担う学校施設の在り方を検討する。また、生徒の主体的な学びや特色ある教育活動に適した機能とともに、変化の激しい時代に応じて柔軟に部屋の形や用途の変容が可能となる自在性を備えたものとする必要がある。あわせて、「地域に開かれた学校」として地域連携や地域活動を担う学校施設の在り方やあわせて、一部の施設の運営や維持管理については、民間事業者や障害者就労事業所等への業務管理委託など民間活力の導入も視野に入れて検討する必要がある。

(1) 生徒が主体的・能動的に学びあう施設・設備

授業の在り方のみならず、施設面からも生徒の主体的・能動的な学習を促進し、生徒同士での議論の活性化につながる環境の整備を目指す。例えば、少人数での話し合いや発表が行いやすいなどアクティブ・ラーニングに適した教室のあり方やラーニングコモンズ^{※4}の機能を充実させた図書館等の設置が望まれる。さらに、少人数での講座や補習にも対応した教室や、教室に限らず廊下などの開かれた空間で自由に議論が生まれるスペースの整備や、大講義室としての活用だけでなくプレゼンテーションや交流行事などで活用できるホールの設置等が必要である。

また、生徒が探究活動や学校行事、部活動等に取り組む際、タブレット端末等の ICT 機器を積極的に活用し、必要な情報に素早くアクセスし、その情報を自ら活用、また他者と共有するための環境を構築するため、校内の Wi-Fi 環境をはじめとする充実した ICT 機器等を整備する。

※4 ラーニングコモンズ… 複数の生徒が集まって、電子情報や印刷物など様々な情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。

(2) 「魅せる高校」のための施設・設備

科学技術をはじめとする最先端の教育内容に対応できる特別教室や展示スペースを確保し、資料や標本を充実させ、地域の小・中学生等への開放や小・中学生と高校生とが共に実験や学習を行う。また、学習・部活動の合宿や海外からの留学生の受入れが可能となる宿泊機能を備えた研修施設のほか、小・中学生や地域の方とのワークショップ、 全年が参加可能な発表会・ポスターセッションなどが行える多機能型の施

設を検討する。

グラウンドや体育館については、体育の授業や部活動、体育行事などのスポーツを「する」場であるスポーツだけでなく、文化的行事や文化部活動にも活用できる施設となるよう整備するとともに、地域の方々にも応援・観戦していただけるや地域スポーツの振興などの「観る・支える」場スポーツを意識した施設・設備の整備が望まれる。

(3) 地域が輝く施設・設備

地域に開かれ、地域の活性化や発展に寄与する拠点となるためには、連携事業において地域と交流するだけでなく、日常的に高校生と地域の方とが触れ合う機会の創出が必要である。このため、例えば雑誌・図書の閲覧スペースやカフェテリア等、地域や同窓会の方々が集える会議室など、日常的に高校生と地域の方、小・中学生とが触れ合う機会や場の創出が必要である。地域の方や近隣の小・中学生が気軽に利用できる施設の整備が必要である。なお、その際、教育活動のスペースと地域との共有スペースを区分けするなど安全面での配慮も必要である。

またあわせて、災害時における被災者の受入れや救援物資の備蓄、消防器具の保管などが可能な防災拠点としての機能を備えた施設・設備防災拠点としての施設の在り方の検討が求められている。の整備が必要である。

5 学校規模・設置学科について

(1) 学校規模について

平成28年度入学者選抜における塔南高校の募集定員は、京都市・乙訓地域での中学3年生の生徒数や普通科系高校の志願者の動向などを踏まえ、普通科6学級と教員養成系専門学科である教育みらい科1学級の合計7学級(280人)となっている。

新設高校においては普通科系の高校を想定しており、生徒の能力や個性を最大限に伸ばすための教育課程や部活動、生徒会活動等の活性化を考慮すると、現在の塔南高校と同程度の規模を確保することが望まれる。

(2) 設置学科について

塔南高校においては、勉学と部活動の高いレベルでの両立を目指した「文武一貫」を教育方針とし、部活動時間の前後を活用し、進学や学習定着のための土曜補習や朝学習を実施し、学習習慣の定着と学習意欲の向上を図っているところである。

普通科では、こうした塔南高校のこれまでの取組の成果と課題を明らかにし、社会においてたくましく生き抜くための社会人基礎力を身につけさせる指導とともに、進路展望を高め主体的に学ぶ生徒を育む教育課程の構想を目指すことが重要となっている。

教員養成系専門学科である「教育みらい科」においては、入学生対象のアンケートにおいて、「教育みらい科」を選んだ理由として「教育みらい科の教育内容に興味を持ったから」が最も多く、「将来教師になりたいから」を上回っている。「教育みらい科」のすべての入学者が教員を志望しているわけではなく、教育内容そのものにも興味を持ち、専門科目を通して身につけた力が医療や福祉等の仕事に生かせると考えて入学した生徒も少なくない。

また、同じく卒業生へのアンケートによると、「教育みらい科」で実施している「教育課題探究」や「小学校現場実習」での学習や経験は、大学の推薦・AO入試や大学入学後のゼミ活動等においても非常に役立っているという意見が多く、卒業までの3年間で、生徒は自らの考えを言葉で伝える表現力や、課題解決のために集団で議論を進めるために必要なコミュニケーション能力を高めていることがうかがえる。

しかしながら、「教育みらい科」が1クラスの規模ということもあり、その先進的な取組内容が普通科全体に普及できていないなどの課題がある。

こうしたもと、今後、設置学科の検討にあたっては、「教育みらい科」の発展・見直しも含め、目指す生徒像の実現という観点から更に検討を進める。

生徒から寄せられたパブリックコメントへの対応について

<経過>

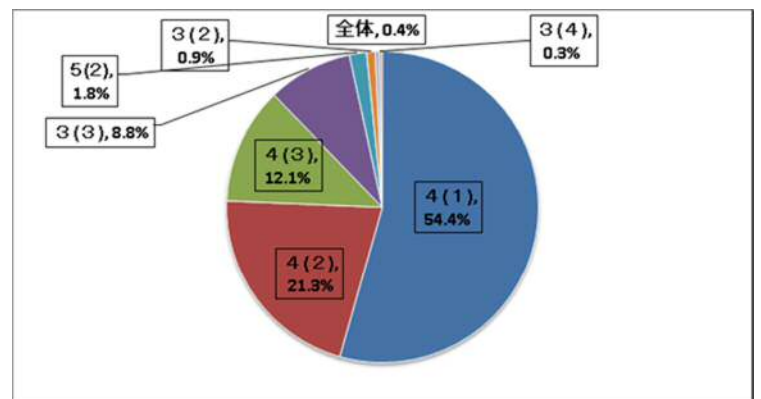
- 6月 3日（金）生徒会執行部との懇談（パブリックコメントへの協力依頼）
- 6月 15日（水）、16日（木）ホームルームにおいて、生徒会執行部から生徒全体への協力の呼びかけ、募集開始（～20日（月）まで）
- 6月 20日（月）生徒会執行部が意見集約（687通：全校生徒の86.3%）
- 6月 23日（木）より、改革推進部で生徒意見の精査を開始
- 7月 21日（木）・28日（木）学校指導課・管理職・改革推進部で、今年度対応できることについて協議
- 7月 22日（金）生徒会執行部との懇談（協力への御礼と今後に向けて）

<意見の概要>

687通、1,237件の意見のうち、「4(3)生徒が学びあう施設・設備」に対する意見が約55%を占めた。「個人ロッカーの設置」「快適なトイレ^①」が多数あり、そのほか、「虫・鳥の侵入を防ぐ網戸の設置^①」、「I C T機器等の充実した学習環境^②」、「自習室^③」等に対する要望が目立った。

「4(2)『魅せる高校』のための施設・設備」（約21%）に関しては、部活動で使用する施設の充実への要望が多数を占めた。

その他、「3(3)生徒の主体性を引き出す教育活動」（約9%）においては、「学校行事を中心とする生徒の活動の活性化^④」を望む声が、「3(2)魅力あふれる教育課程」（約1%）では、普通科の教育内容の充実や海外との交流の充実などが挙げられた。



- 全体：全体について
- 3(2)：魅力あふれる教育課程
- 3(3)：生徒の主体性を引き出す教育活動
- 3(4)：小中・地域と連携した教育活動
- 4(1)：生徒が主体的に学びあう施設・設備
- 4(2)：「魅せる高校」のための施設・設備
- 4(3)：地域が輝く施設・設備
- 5(2)：設置学科

<今年度からの対応>

- ① トイレの改修や網戸の設置についてはP T Aからも要望が出ており、整備を求めていく。
- ② 特別教室のひとつを改修し、プレゼンテーションやアクティブ・ラーニングを展開しやすい、I C T機器やスクールファニチャーを備えた多目的教室への変更を検討する。
- ③ 廊下等に自習スペースの増設を検討する。
- ④ 学校行事を中心に生徒の主体的な活動が活性化するように、生徒指導部と改革推進部が連携して生徒会執行部をバックアップしていく。

新校創設に向けての工程表

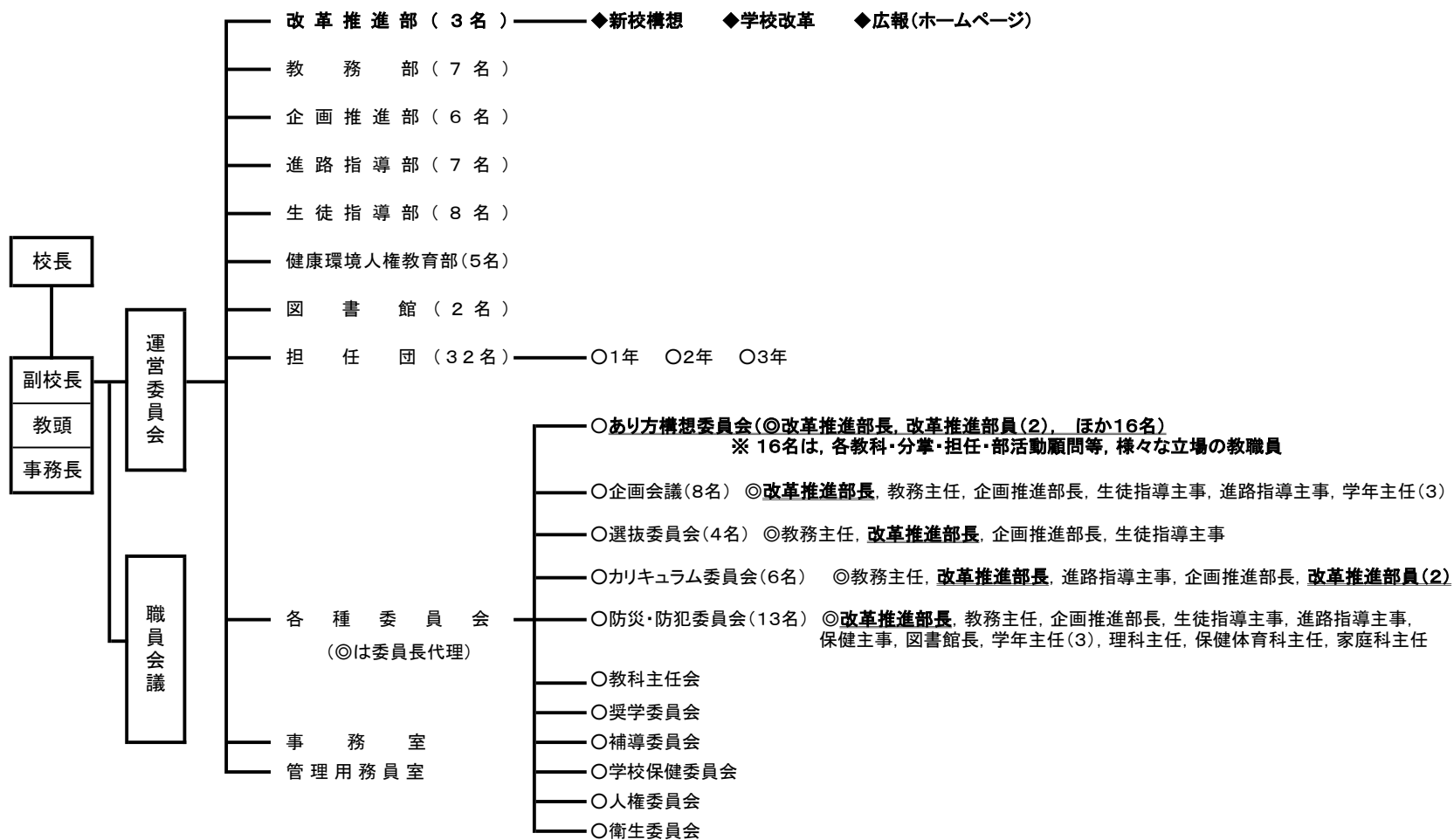
年度	H27		H28		H29		H30		H31		H32		H33	
	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10	4	10
基本コンセプト	育てたい生徒像 つけたい力		教育目標・方針の具体化 設置学科の構想		学科構想の具体化									
総合的な学習の時間	調査・研究 先進校視		3年間の内容の検討 内容の具体化・組織の確定・教材や指導案の試行版作成		1年次試行		1年次実施・2年次試行		2年次実施・3年次試行		3年次実施			
学力向上			家庭学習時間増加の取組 ALの推進 視察 研究・視察・校内研修等 前期選抜方式の変更											
カリキュラム					新校のカリキュラム検討		新校に準じたカリキュラムスタート		教科書選定		シラバス・評価規準等の整備			
教育みらい科 将来構想			将来構想											
部活動			部活動のあり方の検討											
組織	あり方構想委員会(4名)		改革推進部(3名) (新)あり方構想委員会(19)											
地域連携 企業連携	洛陽工業での状況把握 引き継ぎの検討		洛陽工業の地域連携への参画 (生徒会、生徒有志を中心に) 新たな地域連携の模索 地元企業との連携試行		地域連携・企業連携の 教育課程への位置づけ検討									

新・普通科高校の開校

「新・普通科系高校」の創設に向けて 平成28年度 校内改革工程表(Ver2)

	4				5				6				7				8				9				10				11				12				1				2				3															
	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週																				
学科・コース	将来構想・設置学科の検討												業案作成		業案提示		業案についてあり方メンバーに意見聞き取り												意見整理		論点整理												論点整理																	
外部連携	●自治会との懇談								ボランティアを募集・参加								地域清掃				ボランティア募集				子ども祭り								ボランティア募集				いきいきトーク				地域清掃																			
広報	学校案内検討				1次原稿				完成				説明会①				中学校説明会				中学校説明会				中学校説明会				説明会②				打合せ				説明会③				個別相談				個別相談															
部活動	ホームページの毎日更新				打ち合わせ				打ち合わせ				打ち合わせ				打ち合わせ				打合せ				打合せ				打合せ				打合せ				打合せ				打合せ																			
施設・設備					業案検討				業案修正				提出																																															
													部活動顧問からの聞き取り												現状の課題整理												部活動のあり方の検討																							

平成28年度 京都市立塔南高等学校 校内組織(概要)



「京都市立新設高校創設プロジェクト」に関する第 3 回有識者会議 概要

1. 日時 平成 28 年 3 月 2 日 水曜日
開会 9 : 30 閉会 11 : 30

2. 場所 京都市立西京高校 3 階会議室

3. 出席者

【有識者】

- ・北川 進 氏 (京都大学物質-細胞統合システム拠点長, 京都大学大学院工学研究科教授)
- ・溝上 慎一氏 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)
- ・武田 靖史氏 (村田機械株式会社 取締役 業務支援本部 本部長)
- ・今野 圭子氏 (京都市立中学校 P T A 連絡協議会庶務・近衛中学校 P T A 会長)
- ・村上 久明氏 (京都市立高等学校 P T A 連絡協議会会長・西京高等学校 P T A 会長)

【プロジェクト委員等 (プロジェクト委員は下線)】

古池校長 (塔南高), 村上校長 (西京高), 田邊校長 (七条中)

清水教育企画監, 大黒指導部担当部長, 三宅担当課長, 川浪首席指導主事, 辰巳課長補佐,
末房指導主事, 沖田 (以上, 市教委)

【塔南高校あり方構想委員会】

杓谷教頭, 正木主幹教諭, 松田教諭, 飯島教諭 ※黒澤教諭は欠席

4. 傍聴者 なし

5. 会議の概要

- (1) 開会の挨拶
- (2) スケジュール等について
- (3) 中間まとめ (案) について
- (4) 「スクールコンセプト」に係る事務局提案について
- (5) 意見交換
- (6) 閉会の挨拶

6. 主な意見

(1) 中間まとめ (案)・教育内容等について

- ・ 中間まとめ (案) は大変よくまとまっているが, 「2 新・普通科系高校の目指す生徒像・学校の基本コンセプト」には「京都」という文言が入っていないのはなぜか。

→ (事務局)

この部分は 27 年 6 月に策定した「基本方針」から抜粋したものであり, 基本方針を策定した段階では「京都」というキーワードは入っていない。

- ・ 成果指標の検討状況はいかがか。

→ (事務局)

事務局で約 80, 塔南あり方構想委員会で約 100 の指標案を出し, 検討している。

- ・ 活動は大変豊かだが、狭義の学力定着や学力向上はどう保障するのか。

→ (事務局)

当然取り組むことなので、あえて記載していないが、御指摘をふまえ工夫したい。

- ・ 活動はバラエティーに富んでおり、魅力的であるが、全生徒に対してこれらの全ての活動をさせるのか。一人が多様な能力を身に付けるのではなく、多様な人材を育てる方向のほうが良いのではないか。
- ・ 同じく、一人に全てのプログラムを施すのではなく、個人が伸ばしたい分野を伸ばせる教育ができることを新校の特色として打ち出してはどうか。京都の「ほんまもん」を知っている生徒、留学生等に対し積極的にコミュニケーションがとれる生徒等、多様な人材育成を図るべき。
- ・ 京都は単なる「地域」としての意味でなく、世界におけるブランドであり、海外においても京都の文化や伝統について必ず聞かれる。京都に住んでいても意外と知らないことが多いため、京都を学ぶ意義は大きい。
- ・ 就職面接において、大学生から「入社までに何を勉強すべきか」といった質問を受けることがあるが、仕事に必要な能力や技術は入社してから教えるので、卒業までは学生時代にしかできないことを悔いなきようやりきってほしいと伝えている。社会人になることを見据え、高校段階から必要な能力を身に付けることも重要だが、新校が「企業の予備校」とならないようにはしてほしい。高校生の時にしかできないこともある。
- ・ 「京都」をキーワードにすることは大変良い。
- ・ 中間層の受入を前提として、学力定着を図る取組と、他の特色ある取組とのバランスを取る必要がある。そのうえで、各取組を通じて、どの程度まで生徒の力を伸ばしたいのか、到達点となる基準が必要。
- ・ 280人、7クラスの規模であれば、たくさんの教員が関わってくれるであろうから、教育活動も充実する。
- ・ 保護者としては、子どもが社会に出てからしっかりやってほしいと願っているため、子どもには何よりコミュニケーション能力を身に付けさせてほしい。
- ・ 新校は普通科の学校という認識でよいか。

→ (事務局)

学科に関しては、現段階では「普通科系」としか決まっていない。専門学科では学校独自科目も設定しやすく、また保護者に対し分かりやすいキーワードを示しやすいといった特徴があるが、今後の国の学習指導要領の改訂の状況も見据えながら、検討していきたい。

学習と行事、クラブ活動等、それぞれのバランスをしっかりと考え、新校の教育活動をデザインしていきたい。特に学習面については、平成5年度に現役国公立大合格者が府下公立高校トップとなった実績もあり、生徒に学習をさせる土壌はあることから、新校ではさらなる取組の充実を図りたい。

- ・ 「未来を悠々とたくましく生き抜く力を育成する学校」というコンセプトはまさに保護者が望んでいるところである。
- ・ 生徒が京都の良さを改めて感じる機会となる取組の検討をお願いしたい。
- ・ 取組が多様なことは良いが、中学生にも分かりやすいよう、打出しの際は取組内容を精選するか強調してほしい。

- ・ 学習面、学力面についても示したほうが中学生にとって高校選択する際の一つの判断基準になるのではないか。
- ・ 新校でも今の塔南の部活動を引き継ぐと思うが、新校における部活動と他の活動とのバランスについて、どう検討されているか。また、特に部活動の顧問が他の活動に対していかに価値を見出せるか、部活動だけやれば良いという考えであれば、否定はしないが学校として寂しい。

→（事務局）

部活動については、校長会と担当課であり方について検討を始めたところであり、今後更なる検討を進める。

部活動や課外活動を生徒全員に万遍なくさせることは時間的に厳しいこともあるため、生徒が必要な活動について自分で選択できるような仕組みを、教育課程を考える中で検討していきたい。

（２）中間まとめ（案）・施設等について

- ・ 留学生が寄宿できるような施設というのは非常に素晴らしい。大学でも整備できておらず、全国の高校にも無い施設だと思うので、新校の目玉になる。予算は限られているだろうが、世界標準の機能を備えた施設として整備できれば魅力的である。
- ・ 海外の留学生が寄宿できる施設は面白く、留学生を誘致するきっかけともなる。ホームステイでは受入先の数にも限界がある。
- ・ 同志社大のラーニングコモンズといったアクティブラーニングがしやすい施設ができれば良い。

→（事務局）

唐橋地域から避難所としての機能を充実してほしいと要望をいただいているところであり、こうした避難施設としての機能と、留学生等が寄宿できる機能を兼ねた施設として検討していきたい。

また、地域の方との話し合いの中で、昔から唐橋地域は新しく地域に来た人を拒まず、受け入れてきた気質があり、留学生等の受入についても肯定的に捉えていただいていることから、積極的に検討していきたい。

（３）スクールコンセプト・学校経営ビジョン等について

- ・ 学校経営ビジョンについて、3つの方向性を「交流する力」、「生き方を見出す力」、「文化を身に付ける力」等、言葉の意味が分かりやすいように工夫してはどうか。また「言語技術の習得」については、「技術を習得」という意味だけに捉えられるため、習得を通じてどのような力が備わるのか、より具体的に明示したほうがよい。
- ・ 学校経営ビジョン案の一つ「コミュニティハイスクール」の「取組例」に、「高校生消防団の設置」とあるが、これだけ具体的すぎないか。項目を整理すべき。

→（事務局）

「高校生消防団の設置」については、地元の唐橋地域から、地域の小中学生と大人を繋ぐ役割を高校生に求めたいと期待されていることを受け、地域のために生徒中心で何か新たな取組をできないかという趣旨で検討したもの。佛教大学等大学生による消防団が結成され注

目されている。記載項目や内容を整理する。

- ・ 多様な人材を育むため、生徒に様々な取組をさせることは良いが、それらの成果を一つに統合していくための共通理念も必要ではないか。
- ・ 生徒全員には学習面での基礎基本の徹底を図るとともに、「京都」について学ぶことを最低限の指標とすれば、それが学校としての共通理念となり、成果指標となるのではないか。そこから個の興味関心に応じて個性を伸ばしていく教育をしていくイメージ。
- ・ コミュニティハイスクールとしての取組例の一つに、「サポートボード」という造語を入れている。委員から御助言いただいた OB 等を含めた学校の応援団のようなものを想定しているが、いかがか。
- ・ 昨今、大学の研究者にプログラムマネージャー (PM)という役割を与え、研究をするだけでなく、研究が円滑に進むよう全体計画を作成したり、また研究成果の実用化に向け企業等との連携を図る仕事をしてもらっている。中には、企業 OB 等で人脈もあり方向性も明確で、パワフルな方もいらっしゃる。こうした PM に近いイメージのことかと思うが、これは非常に重要。
自分も塔南 OB として協力したいと思っているが、地域に近い企業や大学にも、何らかの形で協力いただくことは可能であろう。こうした PM のような役割を担う人材が、上手く機能するよう工夫することが重要である。このような組織づくりは新校の特色になるのではないか。
- ・ 外部との連携は重要だが、教員は授業を持っていけば時間的な制約を受けるため、教員だけではできない。コーディネーターとして専門的な人材が必要である。

→ (事務局)

市立高校においては、インターンシップは従前から工業高校中心に実施しており、普通科系高校ではあまり行っていない。企業にとっても工業高校生であれば高校卒業後に就職する生徒もいるため、インターンシップの受入も比較的御協力いただきやすいかと思うが、普通科系高校の生徒の受入についてはいかがか。

- ・ 弊社では普通科系高校でも受け入れた実績はあり、社会に出て働くとはどういうことかを学んでもらっている。CSR 活動の一環として受け入れている企業もある。時期的な問題で、秋頃であれば比較的受入やすいのではないと思われる。
- ・ 西京には学術顧問がおられ、毎年入学式には学術顧問の故・堀場雅夫氏が生徒や保護者向けに講演を行ってくださり、大変魅力的であった。このような方のお話は生徒のためになることから、新校でも定期的にこうした機会を設けてほしい。
- ・ コーディネーターについては、子どものためになるような人選を慎重に行っていただきたい。

→ (事務局)

スクールコンセプトについては、つけたい力を示すのか、中学生目線で示すのか等、どういった切り口から示していくのか、いただいた意見を踏まえながら引き続き検討していく。

- ・ 新校で想定している取組を今の塔南高校でどう生かせるか考えている。教員のみでは限界があるため、外部人材を上手に活用していきたい。
- ・ 現在の塔南卒業生はほとんどが大学に進学するため、大学卒業後のキャリアビジョンをいかに描けるか、「総合的な学習の時間」を活用し、3年間でどういった力を身に付けさせるべきなのか検討している。28年度からは新分掌として「改革推進部 (仮称)」を立ち上げ、「総合的な学習の時間」、「外部人材の活用」の在り方について具体的な検討を進めていく予定である。

(4) 今後について

(事務局)

- 28年6月頃、パブコメ終了後に、再度有識者の方から御意見をいただきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。パブコメでは保護者や塔南高校生の意見も聞きたいと考えているため御協力いただきたい。
- 塔南高校においては、できる改革や取組を今から進めていただき、その中から指標やスクールコンセプトをさらに精選していきたい。